

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

株式会社近鉄エクスプレス
代表取締役 社長執行役員
鳥居 伸年

当社は、取締役へのアンケートおよび社外取締役との意見交換を踏まえ、2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）における取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法

取締役および監査役に対し評価の趣旨等を説明のうえアンケートを配布し、全員からの回答により得られた意見等に基づき、分析・評価を実施いたしました。

- <評価項目>
- ・取締役会の機関設計・構成
 - ・取締役会の役割・責務
 - ・取締役会への支援体制
 - ・株主との会話
 - ・個人評価（取締役の責務等）

2. 評価結果の概要

当社の取締役会は、経営上の重要な意思決定および業務執行の監督を適正に行うための体制が確保されていること、取締役会規程上の基準に基づき審議や意思決定に十分な時間が確保されていること、多様な専門性を持つ社外役員（取締役3名、監査役2名）を含め建設的な議論が行われていることなどから、取締役会の実効性は概ね確保されていると評価しました。

一方、取締役会の実効性を更に高めるために取り組むべき課題として、前回の評価（2016年度）にて認識された、「経営計画で掲げた目標、事業戦略の執行状況の効果的なモニタリングの中から得られた当社の経営課題等を共有し、議論の充実を図ることが不十分であったこと」については、一定の改善は見受けられたものの、引続き議論の充実を図ることが必要であることを確認いたしました。

また、引続き、内部統制、コンプライアンスならびにグループリスク管理体制に対するモニタリングの更なる強化が必要であることを確認いたしました。

3. 実効性向上に向けた今後の対応

取締役会は、経営計画で掲げた目標、事業戦略の執行状況における経営課題等の共有と議論の充実、また、今まで以上に内部統制、コンプライアンスならびにグループリスク管理体制の強化に取り組んでまいります。

今後とも、取締役会の実効性に関する評価結果を踏まえ、当社が置かれた経営環境を踏まえた最適なコーポレートガバナンスの実現を目指してまいります。